

公益社団法人 日本青年会議所

四国地区 徳島ブロック協議会

安全保障推進委員会

委員長 落合 輝紀

現 状 分 析	物流の95%を陸海輸送している中で災害によるインフラ破断が発生した場合、徳島はすぐさま資源枯渇となる可能性があります。また、スポーツによる人材育成は時として勝敗へのこだわりが強くなり、グッドルーザーの精神を養う場としての可能性を生かしきれていない側面があります。
目 指 す べ き 状 態	<p>■徳島の地理条件と保有資源について十分な知識をもち、特に喫緊の問題となる食料と人命救助に直結するインフラ確保への準備と用意ができている状態。</p> <p>■地域の期待に応える強い意志と高い道徳心を持った児童が、全国へと羽ばたいていくことができる状態。</p> <p>■安全保障問題を私事にとらえ、家族の安全を守る知識と行動力が備わっている状態。</p>
連 携 概 要	<p>■多面的な安全保障に関する国民的議論を巻き起こす事業の実施 県内各LOM、メンバー個々が持っている知識を災害対策の現状と課題を学ぶ事業によって更新し、身近な生活の中にある安全保障に関する問題を認識します。私たち一人ひとりが国家と地域を構成していることを自覚し、自らの立ち位置が定まることによって、できることを探し自発的な行動ができる県民となります。</p> <p>■J C カップU-11 少年少女サッカー全国大会徳島ブロック予選大会の実施 地域の未来を担う児童が仲間と切磋琢磨し、友情を育みながら全国へと挑戦できる舞台を用意するとともに、子供たちを支える地域コミュニティの強化を図るためのサッカー大会を開催します。そして、競技を通じてフェアプレー精神、良き敗者・良き勝者たるグッドルーザーの精神が醸成されていく指導者・保護者コミュニティを形成します。</p> <p>■安全保障確立委員会との連携推進 国家との窓口たる日本青年会議所の委員会と連携し事業実施することによって、私たち一人ひとりが我が国の一端を担う国民であることを自覚し、国際問題から家族の問題まで、為すべきことを各々に問い意識変革のきっかけを作る機会を県民に提供することを目的とします。</p>
S D G s	【3、4、11、13、17】
政 策 手 法	<p>■多面的な安全保障に関する国民的議論を巻き起こす事業の実施 ブロック大会に合わせて事業を実施し、県及び居住地域での現時点での災害に対する備えが確認できる事業を行います。そして今後さらにどのような備えと心構え、一人ひとりの行動が必要なのかを理解することによって、参加者が前向きで実行力のある議論を巻き起こすインフルエンサーになれる学びの場とします。</p> <p>■J C カップU-11 少年少女サッカー全国大会徳島ブロック予選大会の実施 J C カップU-11 少年少女サッカー全国大会徳島ブロック予選大会を多目的グラウンドで実施し、四国予選大会への出場チームを選出します。併せて、サッカークリニックを実施し、指導者・保護者には選手および指導者の育成とグッドルーザー精神の普及啓発、選手にはサッカーを通じてSDGsに触れる機会を設けます。</p> <p>■安全保障確立委員会との連携推進 安全保障確立委員会と連携しながら計画立案した講演会を実施し、メンバー及び一般市民への参加を促します。そしてメンバーが中心となって多面的な安全保障の国民的議論を巻き起こすことにより一般市民にまで日頃の安全対策が行き届き、我が国の持続的な発展を支えるセーフティネットを構築することにつなげます。</p>
パ ー ト ナ ー	各県市町村危機管理政策課、社会福祉協議会、各地自主防災組織（安全保障に関する事業支援） 徳島ヴォルティス、一般社団法人日本名蹴会、地域のスポーツ指導者（サッカー大会支援）